

渋川市社協ボランティアセンター
こもれび

TEL 0279-20-1112
URL <http://www.shibukawa-csw.or.jp/>

ボランティア 情報



創刊号

発行 平成23年12月

渋川市社会福祉協議会 ボランティアセンター「こもれび」

〒377-0008 渋川市渋川(長塚町)1760-1 渋川ほっとプラザ2階

電話 0279-20-1112 FAX 0279-25-1721

ボランティア情報発行にあたって

4月から渋川市社協ボランティアセンターが開設されました。おかげさまで、相談やボランティア活動保険の加入など、たくさんの方々が利用しています。

活動をするうえで役立つことやボランティア募集など、多くの「ボランティアの情報」を「ボランティアを希望する方」や「ボランティアを必要とする方」へ伝えていきたいと思えます。

決定！

渋川市社協ボランティアセンターの愛称が決まりました。

渋川市社協ボランティアセンター
こもれび

公募したところ、多くの方々からご応募いただき「こもれび」が選ばれました。

「木々の間からもれてくる木漏れ日のように優しい温もりと

温かい愛情を持って、人を助け、支えていくイメージ」という思いがこめられています。今後とも、「こもれび」をよろしくお願いいたします。

社協ボランティアセンターでは、こんなことをしています。

ボランティア相談

ボランティア活動に関する相談を受付けます。

福祉ニーズの把握

調整・コーディネート
団体や福祉施設などのニーズを把握し、ボランティア活動のコーディネートを行います。

ボランティア育成支援

ボランティア希望者、新規グループの立ちあげなどの支援を行います。

ボランティア登録

「ボランティア活動をしたい！」という個人や団体のみなさんには、ボランティア登録をおすすめしています。登録情報をもとに、情報提供やイベント・講座のご案内をします。

茨川市社協ボランティアセンター
こもれび

福祉機器貸出事業

車いす、ベッド、エアマットの貸出しを行います。

福祉車両貸出事業

車いすごと乗車できる福祉車両の貸出しを行います。

災害ボランティア

支援体制整備

災害ボランティア支援の推進などを行います。

福祉学習支援

学校などが実施している福祉学習の支援を行います。

在宅福祉移送サービス

車いすやストレッチャーで乗車できる福祉車両での移送サービスをボランティアの協力により行います。

多くの方々に参加や協力をよびかける機関ですので、
皆様の応援をよろしくお願いいたします!!

ボランティア活動報告

福祉学習支援へのボランティア

渋川南小学校特別授業参観

11月27日(日)に渋川南小学校特別授業参観にて、福祉施設やボランティアさんの協力により福祉学習を実施しました。

車いす体験

恵の園職員の協力をいただき、車いすで生活をしている方の理解にむけた学習を行いました。(6年生)

アイマスク体験

朗読奉仕会山びこの協力により、視覚障がい者を理解するためのアイマスクの体験を行いました。(5年生)

手話体験

聴覚障害者福祉協会の協力により、聴覚障がい者を理解するための手話体験を行いました。(4年生)

高齢者疑似体験

高齢者の疑似体験を渋川市社協ヘルパーステーション職員の協力により実施。(3年生)

特別講演会

車いすバスケットチーム「GUNMA MAGIC」の筑井卯月氏による車いすバスケットの実演と講演。(全校児童と保護者)

この、特別授業参観では、親子で福祉を考え、体験し、思いやることの大切さを学びました。また、地域の方々がボランティアとして障がい者や高齢者に関わるのが「心のバリアフリー」となりすべての人が住みよい地域になるということを次の世代に伝えていくことができました。

渋川市社協では、市内小中学校と入念な打ち合わせをし、生徒・児童のための福祉学習を支援しています。福祉施設やボランティアさんの協力のおかげで、より充実したさまざまな体験学習に取り組むことができます。

事業報告

皆さまのご協力により、実施いたしました。

ボランティアセンター主な実施事業

6月 5日(日) 開設記念講演会「はるかのひまわり講演会」 (参加者160名)

8月17日(水) 映画「エクレールお菓子放浪記」 (2,151枚販売 1,496名来場)

6月～8月 VC愛称募集と決定(応募数85点)

10月30日(日) ボランティアの日(1,100名来場)

11月25日(金) 福祉施設ボランティア受入担当者会議

募集!

ボランティア登録

渋川市社会福祉協議会ボランティアセンター

渋川市社協では、ボランティア登録を開始いたしました。市民をはじめ関係機関及び団体の情報を集め「ボランティアをしたい人」「ボランティアをしてほしい人」をつなげていきます。

内容

個人・団体で活動内容を登録していただき、施設やサロンなどから依頼があった場合、ご連絡をします。

- ・囲碁、将棋の相手をしてくれる方
- ・楽器の演奏、舞踊、フラダンスなどを披露してくれる団体
- ・健康体操や切り絵、絵手紙などの指導をしてくれる方
- ・お話相手等

登録について

多くの笑顔をつくってくれる活動は、さまざまです。少しの時間やちょっとした活動でも登録ができます。

くわしくは社協ボランティアセンターこもれびにおこしてください。

災害ボランティア

被災地支援ボランティアについての情報

全国社会福祉協議会からの情報

東日本大震災の被災地では、これまで災害ボランティアセンターを通じて、被災家屋（個人宅）のがれき除去や清掃、側溝整備（泥だし）、土砂の土嚢詰め、田畑・河川の土手のがれき除去、救援物資の仕分け作業、避難所の環境改善活動、写真整理、仮設住宅への物品搬入手伝い、イベントの補助、草刈りなどの力仕事を中心としたボランティア活動が実施されてきました。

発災から9か月が経過し、被災者の多くが「応急仮設住宅」に移ったなかで、被災地で求められるボランティア活動は、被災者の生活支援（買物支援、調理支援、（仮設住宅などの）環境整備）、安否確認、孤立防止などの活動が中心となっています。ふれあい・いきいきサロンなどの交流活動、イベント実施などへの参加も求められています。

これらの活動には、被災者とのコミュニケーション、人間関係づくりが必要となることから、比較的長期あるいは継続的（断続的）に被災地に滞在できる方が適役となります。これらの活動は現地の職員も担いますが、ボランティアの特性が生きる重要な役割となっています。一方で、短期間であっても、大勢の方に来ていただいで、対応しなければならぬニーズも依然としてあります。したがって、各災害ボランティアセンターからのメッセージをご覧ください、必要な場合には直接連絡をとって、ニーズを確かめた上でご参加いただきますようお願いいたします。

<http://www.saigaivc.com/> (全社協 被災地支援・災害ボランティア情報)